そうぐみだより

2024年度７月号　尚徳福祉会生麦保育園

雨からおひさまに季節の主役が交代していく７月。暑い日が続きますが、子どもたちは、そら豆の皮むき、さつまいもの水やり、雑草抜き、どろんこと楽しみながら毎日元気いっぱいに遊んでいます。園では、熱中症測定器を活用したり、戸外での活動制限を行ったり、こまめに水分補給をしたりと、安全に過ごせるように、熱中症予防対策を行っています。健康に気を付けながら、夏ならではの経験を重ねていきたいと思います。

あじさい制作

レースペーパーを、思い思いの色に染めて、折り紙をちぎって貼り、あじさいを作りました。

習字紙も染めたので、絵の具の付いた筆を強く動かすと、破れてしまうハプニングもありましたが、絵の具がたくさんついた習字紙に、レースペーパーを置いて、色を写し取り、偶然できる色や、模様を不思議そうに見ながら、「あっ！きれい」と、発見する姿も見られました。指で、折り紙をちぎるのに苦戦している子に、「こうやるとちぎりやすいね」と伝えると、何度かやってみる中で、引っ張ってちぎっていたのが、上手にちぎれるようになっていました。
席が隣同士のお友だちが、ちびっこ先生になって言葉で伝える姿も見られました。

七夕

七夕に向けて、織姫様と彦星様を作りました。着物を千代紙で折ると、「チューリップと似てるね」と以前作った制作を思い出し、スムーズに手を動かす姿が見られました。スポンジに絵の具を含ませ、流れ星を作ると、色が混ざり合い一人一人、個性的な作品になり、「どうやったの」と、友達同士でお話しする姿も見られました。違いに気づいて、認め合い、言葉で、説明したり、経験を伝えたり、言葉の成長にも驚かされる機会にもなりました。

七夕の絵本を読み、７月７日に織姫様と彦星様が逢えることを楽しみにしている子どもたち。
みんなのお願いも流れ星に乗って叶いますように☆彡

にこにこまん

６月７日に、春の園外保育がありました。「にこにこまんグループ」という、3，4，5歳児の異年齢保育で、貝の浜公園に行き、体操や、ボール運びゲーム、リレーを楽しみました。初めての顔合わせの時は、恥ずかしそうに名前を言っていましたが、当日は、「〇〇ちゃん一緒に行こう」と声を掛け、手をつなぐ姿が見られました。ゲームも勝ち負けだけでなく、小さいお友だちに合わせた歩幅でボールを運んだり、リレーでは優しくタッチしたりする姿が見られました。これから１年間にこにこまんグループでの活動を通して、思いやりの気持ちや、自信につながるよう援助していきたいと思います。

毎日の、プールカードのチェック、お洗濯ありがとうございます。